

《昭和54年度同窓会》

総会開催のご案内

日時 七月七日(土) 午後二時より
場所 明治高校
会費 四千元
(前もって、各学年委員より、
会員券を購入して下さい。な
お、当日券もあります。)
明治高校同窓会
会長 片岡龍夫
会員各位

準備進む七夕総会

会員券発行 PRコーナー アイデアいっぱい企画

同窓会総会・会員大会(懇親会)は、七月七日(土)午後二時より、母校で開催される。
(詳細は「ご案内」参照) 今年度は、幹事学年制の採用で、四年とは一味違った総会になりそ
うだ。そこで、準備の進み具合と、新趣向の催物などを取材してみた。

今年度の総会は、新しい試みとをこころにするか、理事会も、苦心
して、幹事学年制を採用され、総会したようだ。

会場の運営を、特定学年の同期
会に委ねることになった。

かつての同級生同志で、遠慮の
ない討論や綿密な打ち合わせで、大
胆なアイデアや、細かい配慮を盛り
込んだ、楽しいものという願いが
込められている。

その結果、昭和五十七年度の同期
失敗を許さぬトップバッター会・一七会に決定した。

昭和五十四年度の明治高校同窓会総会・会員大会
(懇親会)を、左記の通り、開催します。
同期生など、お誘い合せの上、多数の出席をお願い
します。屋内ですので、晴雨にかかわらず、実施しま
す。

昭和五十四年度の明治高校同窓会総会・会員大会
(懇親会)を、左記の通り、開催します。
同期生など、お誘い合せの上、多数の出席をお願い
します。屋内ですので、晴雨にかかわらず、実施しま
す。

53年度卒業生

明大へ二百三十七名
三名が他校へ

昭和五十四年 月に、五十三年度
卒業生の明大推薦入学者の発表
が行われた。

卒業生数 四百四十名中、一部七
学部へ二百三十七名、一部四学部へ
十七名、計二百三十七名が明大へ
進学した。(別表参照)

残りの三名は、国立大学の外国
語、歯学部が各一名と、各種学校
が一名であり、明大進学希望者の
全員が推薦入学したことになる。
この結果に、満足とする声、これ
については本紙四面で、中野

法 学 部	53
商 学 部	52
政 経 学 部	41
文 学 部	12
工 学 部	10
農 学 部	12
経 営 学 部	40
二 部 合 計	17
そ の 他	3
合 計	240

当日カタログ持参で

PRコーナー出品募集中

今年度より懇親会会場に「PR
コーナー」が新設される。
これは、会員の所属(経営)す
る会社の製品見本、パンフレット
事業案内などを展示し、自社PR
に利用していただくコーナーであ
る。

直接の目的は、会員相互間の仕
事の便宜をはかることであるが、
会場の彩(いろど)り、話題作
りという面もあり、なるべく多く
の出品が期待されている。
出品希望者は、事前の手續など
は必要なく、総会当日に展示物を
持参すればよい。飲食業など
の方は地図だけでも歓迎。「同
じことなら同窓生の所」という
期待もある。
関係者は、「どんなものでも結
構です。遠慮なく参加して下さ
い」と話していた。
好評ならば来年度も続ける予定
である。

総会にあたって
多数の出席を

同窓会会長 片岡龍夫

同窓会の皆様には、ますます
ご健勝にて、各方面でご活躍の
ことと心からお喜び申し上げます。
お蔭様で同窓会も理事、監
事、代表幹事諸君のお骨折りと
会員皆様方の母校を愛するご援
助により、会の再建にスタート
以来、ようやく十五年目を迎え
ることとなりました。

また、母校においても昨年四
月清水校長を迎え、順調に運営
発展していることは同窓会とし
ても心強い次第であります。
今後共、会員皆様方の温かい
ご理解と、強いご協力を得て、
さらに、会の発展を期したいと
思います。

総会に出席を
来る七月七日に別項の通り、
第十四回総会懇親会を、母校
で開催いたします。今回は、昭
和五十七年(旧制第二十六回)卒
業の諸君が中心となり、新しい
企画で準備、運営万端にわた
りお骨折りを願っております。
会員諸君の一人でも多くのご参
加を、総会を大いに盛り上
げられたいと思います。年に一
回、同窓生が一堂に集い、同じ
学び舎で青春の一時を過ごした
第一号が発刊されて以来早くも
ます。

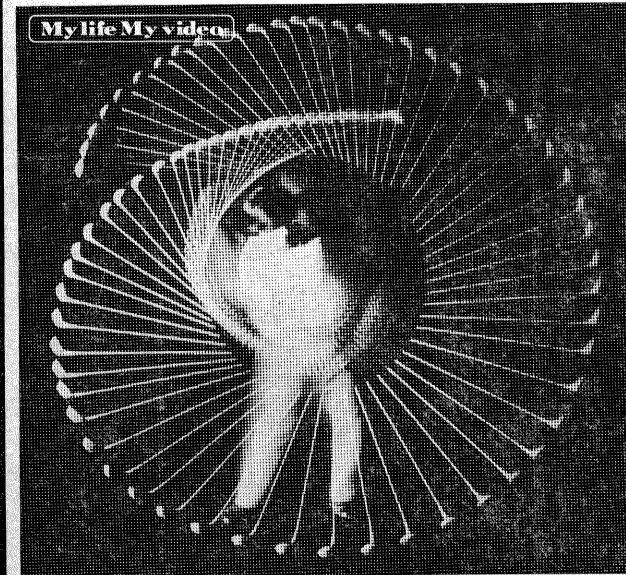


九九年を経てしまいました。会
員名簿は同窓会の分身のような
もので、会員相互の連絡や、会
の運営に不可欠で、少なくとも
三年に一回は更新し、同時にその
内容の訂正と、同時にその後の
新会員(毎年の卒業生)を追加
し、名簿を生きたまものにする必
要があります。

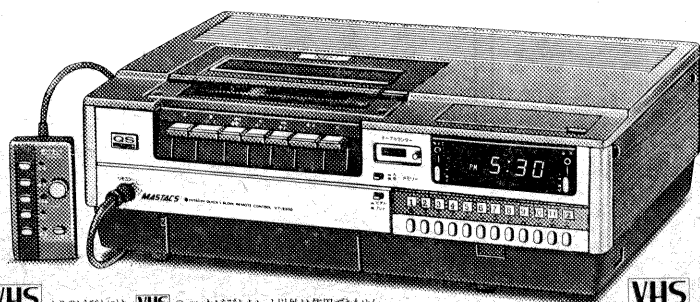
しかし、当会には常勤の事務
局が無いので、その作製はすべ
て代表幹事と理事諸君のボラン
ティア活動に待つ外な、第
三号の発刊遅延もそのような事
情が原因です。目下、早急に発
刊の必要に迫られています。

近々、名簿編集委員会を発
足させ、各年度の代表幹事のお手
許まで、名簿の原稿用紙をお届
けします。当該年度の名簿
原稿の作成を、ご多忙中恐縮で
すが、格別のご協力をお願いし
ます。

このように一七会の努力により
のが慣例となっていたが、年度末
の決算の提出期限の変更にもな
つていた。この最大の悩みを解消
するアイデアである。
もう一つは、総会開催日の変更
である。



日立ビデオ
マスターピース
VT-5300 ¥279,000



クイック&スロー
リモコンビデオ

- 倍速 標準再生の2倍の速さで再生します。
- 標準 録画のときと同じ速さで再生します。
- 可変速 コマ送りの速さから標準の1.5倍の速さまで、連続可変の再生ができます。
- スロー 標準再生の半分の速さでゆっくりと再生します。
- 静止 1コマの静止状態で再生します。
- コマ送り 静止状態から1コマ送って止めたり、コマ送りを連続で行なったりできます。

- 一発選局の電子チャンネル●録画時
間を15分単位でセットできるインターバル
タイマー●リモコンで倍速から静止まで
6つのスピードブレイク●アフレコ機能
●リモコンボース●カウンターメモリ●結
露防止回路、結露検出回路、ローディング
シャフトオフ機構など、数々の安心機
構を採用●外形寸法/幅47.8×高さ15.8
×奥行35.7 (cm)
●ビデオカセットテープ(別売)
T-120E(120分用).....¥4,800
T-90E(90分用).....¥4,300
T-60E(60分用).....¥3,500
T-30(30分用).....¥2,800



VHS方式は松下電器産業、日本ビクター、三菱電機、シャープ、
赤井電機、日立製作所各社(順不同)で広く採用されており、
VHS マークのついたビデオテープは相互に使用することができます。

品質を大切にすぐれた技術の日立



マスターピースはノイズの少ない鮮明スロー。

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立東京別館) TEL (03) 502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立東京別館) TEL (03) 503-2111

— 214 —

昭和十七年卒 佐藤三郎氏

第十四回総会は、例年と趣向をと高まる。テーブルを回り、声をた。

オオタニにて、学校長はじめ、恩師を来賓としてお迎えし、会員多数の出席を得て、華やかに開催された。

る組が出るに及んで、やっと、い見られるのを淋しく感じるのは、つもの同窓会風景となる。会場の私一人ではないと思う。総会は、一隅で静かに杯を傾け合うお二人この広い東京で、年次こそ違え、は、十五年前、測り知れぬ苦勞母校を共にした数少ない同窓生が

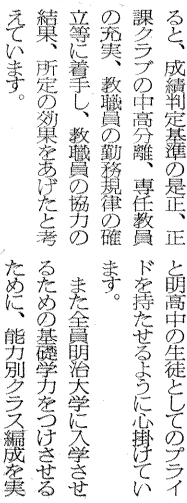
定刻、宗内葬日（昭和十七年卒）の司会により、片岡会長のご挨拶で始まり、ついで、清水新校長が就任の弁と抱負、母校の現状説明と同窓会への希望等、熱をもつて述べられた。卜部芳郎氏（昭和十七年卒）が、来年度の総会幹事としての決意を、表明した後、坂本NHK会長（昭和九年卒）の乾杯の音頭で、祝宴に入った。

ご馳走を前にしての時間が長かったせいか、一同はとした舞踏会、早速、肩を叩き合いながら杯を合せる先輩達、同期生の組、

を重ねて、この会を設立して下さった、初代笹村会長と蒲山副会長のコンビ、特に、近々、滋賀の里に隠退される蒲山先輩の微笑をたたえながらも、何かしら淋しさを秘められたお姿に、強い印象を覚えた。宴たけなわとなり、さあ、これからと思った時には、残念、制限時間が迫っていた。白髪をたたえ、うれしそうに集う、大正・昭和初期の大先輩達の一節、一節をしみじみと味わいながら歌う校歌の音囀に始まり、ついで、戦中派の合唱となり、最後に若き心大である。

先輩、後輩の絆と、親近感を深める場であり、また、新しく入会する後輩諸君に、母校の歴史を引継ぐ唯一の機関ではないのだろうか。幾多、先輩の足跡が母校の歴史であり、また、この会の存続をもたらし続けていることを、忘れてはならないと思う。同窓会は、同期会の集合体であり、その縦のつながりを強めることが、会の発展をもたらすものと思う。来年度の総会には、一人でも多くの友に呼びかけ、より盛大なものにしたいと願う心大である。

清水義汎校長



ると成績判定基準の是正、正課クラブの中高分離、専任教員の充実、教職員の勤務規律の確立等に着手し、教職員の協力の結果、所定の効果をあげたと考えています。

また全員明治大学に入学させるための基礎学力をつけさせるために、能力別クラス編成を実

校長に就任して二年間、とても生徒の服装規律の徹底に努めています。

めるとともに、中学、高校の校教職員と父兄が一致し、教育旗を毎日生徒の手で校舎の屋上に専念すれば、本校は必ず私立でできました。

會計・大場隆之氏

会の運営に努力して下さった若き會員の方々に對し、心から御礼を申し上げる次第である。以上は、幹事の一人として、去年の会を省みて、その次第を感想を交えながら拙文をまとめたものである。そして、ここに改めて、諸先輩並びに後輩諸氏に對し、感謝の念を深くして記を閉じる。

ところで、各位におかれましてもクラス会、クラブＯＢ会等の機会を利用してご聴臨いただき、「年会費徴収」の件が、さらに周知徹底したいしますよう、ご理解とご協

力をお願いする次第です。

一、納入期限 毎年一月末日

一、金額 旧制卒 一万

一、問合先 會計 大場隆

代表幹事

新名簿作成へ

代表幹事会 新名簿作成へ

五月二十一日(土)代表幹事会
に各学年幹事、約三十名が参加し
七会(昭和十七年卒)の代表か
ら、総会の運営、企画など細部
わたる報告がなされ、承認され
た。一、会員名簿の再作成につい

て、未だ協力を得られぬままの
議事内容は、以下の通り。

会員各位にお願いたします。
ご承知の通り、昭和五十年度の総
会において、承認を得ました「年
会費徴収」の件は、その後、「各
卒業年次毎に、学年委員が徴収し
一括して納める」という形で、毎
年、学年委員諸兄の手を、わずら
わしておりますが、なお、一部の
学年では、学年委員の選出等を含
めて、未だ協力を得られぬままの

投稿・情報募集

明治高校同窓会会報は、全会員の伝言板として、スペースの許す限り、幅広い話題を載せたいと、考えています。会員の方の、投稿を、お待ちしております。なお、当会報は当用漢字を基準としていますので、ご留意下さい。

送り先は、〒 110-1 東京都千代田区猿樂町二四一 明治高校同窓会 宛

昭和54年3月31日現在

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	954,050	第14回総会経費	839,640
第14回総会会費	606,000	〃 会 報 費	144,780
〃 広 告 代	410,000	通 信 費	202,620
52年度分会費	75,000	会 議 費	76,000
53年度分会費	200,000	公 用 費	40,100
53年度卒業生入会金	480,000	慶 弔 費	30,000
雑 収 入	6,718	事 務 費	1,130
		雑 費	750
		次年度繰越金	1,396,748
合 計	2,731,768	合 計	2,731,768

(自) 昭和54年4月1日～(至) 昭和55年3月1日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,396,748	総会経費	900,000
新卒生入会金	500,000	会報経費	300,000
年度会費	580,000	通信費	800,000
総会会費	600,000	会議費	250,000
会報広告代	500,000	公用費	100,000
		慶弔費	50,000
		事務費	100,000
		予備費	76,748
		基金積立	1,000,000
合 計	3,576,748	合 計	3,576,748

前年の通り報告いたします。
昭和五十四年三月三十一日
会長 片岡龍夫
会計 小林昭雄
同 大場隆之
監査 大西新二
監査の結果相違ありません。

昭和八年卒業 昭八会
大文産業株式会社

取締役社長 高木正夫

本社
渋谷区富ヶ谷一―五十三―十二
代々木ハイランドビル三〇二号
電話(四六七)五四五一代

昭和九年卒業
日本放送協会

坂本朝一

株 式 会 社 高 正

台東区上野三十一七―九
電話(八三三)八七四二
昭和十七年卒 高原克人

三立電機株式会社

板橋区成増一―三〇―十三
電話(九三〇)一一〇一(代)

明北建設株式会社

港区南青山二丁目四十五
協立第二ビル五階
電話(四〇三)九五六一
昭和十七年卒

株式会社 伊奈葉

台東区三筋一十四―八
電話(八五一)七八五
昭和十七年卒

伊奈葉秀雄

昭和十八年卒
駿台高等予備校

校長 山崎春行

昭和十八年卒
(合) 落合製材社

代表社員 落合 博

江東区新木場一十六番一
電話(五二二)二一七一

